

# 向けての取り組み



只見線に手を振る観光まちづくり協会の方

## 「只見線とは」

JR只見線は、福島県会津若松市と新潟県魚沼市を全長135.2キロで結び、2市6町を繋ぐ路線です。これまで通院や通学などの地域住民の足や観光路線として沿線地域を支えてきました。

## 「魅力あふれる只見線」

平成13年10月に全線開通30周年を記念して会津若松駅から只見駅間を運行した「SL&DL会津只見号」により、只見線が魅力的な路線として一躍有名になりました。

その後、「SL会津只見号」として毎年、春と秋に臨時列車として運行されるようになりました。「SL」をはじめ、「風つこ」などの臨時列車の運行が始まると、とても魅力的な路線として、人気が出始め、「紅葉のきれいなローカル線全国1位」、「雪景色のきれいなローカル線第3位」などに選ばれ、観光客の利用が増えていきました。

最近では、『旅と鉄道』2016年5月号の「好きなJRロー

カル線ランキング(東日本編)」

で1位に選ばれたほか、中国版ツイッター(微博(ウェイボー))で「世界でもっともロマンチックな鉄道」として取り上げられ、世界中から注目を集め、主に台湾からの観光客が増加しました。

## 「復旧に向けた取り組み」

平成23年の新潟・福島豪雨の被害を受けた只見線は、2021年度中の全線復旧を目指し工事が進んでいます。町では後の利用促進を図るため、「つながれつなぐれ只見線応援事業」を行っています。この事業では町民の

只見線の利用機会を増やすため、「只見線を利用した旅行の乗車賃の補助」や「只見駅前の美化活動の苗木代」、「只見線をPRする取組みの広告料」等の只見線を応援する町内団体に活動費の一部を補助しています(最高20万円)。昨年度は43件の申請があり、多くの方々に只見線応援活動へ取り組んでいただきました。オリジナルの只見線グッズを作成し、売り上げの一部をJR只見線の利用促

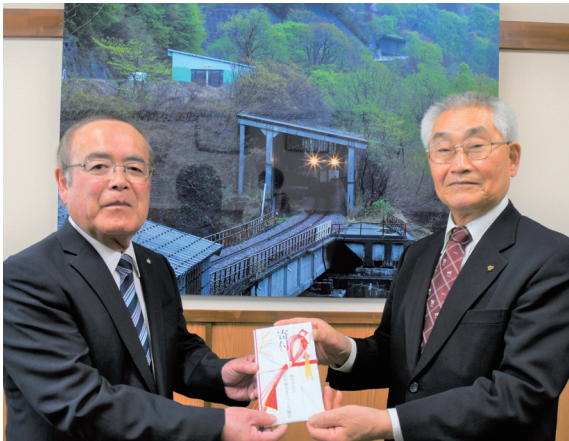
# JR只見線復旧に



◀ラッピング列車「縁結び列車」



◀金山町と只見町のゆるキャラがラッピングされた代行バス



◀観光まちづくり協会黒川会長より寄付を受け取る菅家町長



◀只見線グッズ（ステッカー、コースター、赤鉛筆、付箋、三石神社参拝セット、只見線の四季カード）

進のため、町へ寄付されている事業者の方もいます。

また、町や町内団体等で組織する「JR只見線利用促進実行委員会」では、金山町と共同で代行バスにかぼまるやブナりんをラッピングしたり、小出ー只見駅間を走る列車に「縁結び列車」のラッピングをしました。

また、ステッカーやコースターなどのPRグッズを作成し、様々な場面で活用しています。特にコースターは町内の旅館や飲食施設で活用されており、町内外の方へ広く只見線をPRしています。

## 只見線の観光路線化に向けて

町では、再開通後は観光路線としての活用を目指しています。昨年から地方創生推進交付金を利用し、「只見線観光路線化モデル事業」を3か年で実行しており、魚沼市観光協会と連携したプロレス列車やサイク

ルトレインなどを実施しています。他にも駅からタクシーを利用した観光地巡りのプランや只見駅から会津田島駅までの定期路線ワゴン自然首都・只見号の運行をしています。

また、只見町B級グルメの商品開発にも取り組んでいます。今年度は、新型コロナウィルスにより誘客が難しいこともあり、この商品開発に重点を置いています。「お酒」や「マトン」にスポットを当て、列車内でも楽しめるもの、お土産になるようなものの開発に向けて検討を進めています。

他にも只見駅周辺の魅力を高めるため、三石神社をはじめ、歩いて回る観光スポットを構築していきます。

皆さんの想いを乗せた全線復旧まで間もなくです。引き続き、お力添えをお願いします。

## 記事についての問合せ

只見町役場地域創生課

TEL: 0241-82-5220

✉: kikaku@town.tadami.lg.jp